

圏央道の現場見学会を開催

久喜市立太東中学校の生徒（417名）が、現在整備を推進している『圏央道』の建設現場を見学しました。

見学会では、圏央道の役割や効果を学んだほか、地上から約10mの橋梁に登ったり、ボルトの締め付けや測量など工事の臨場感を体験しました。

また、この様子は、テレビ埼玉のニュースで放送されました。

- 開催日：平成24年12月12日（水）～14日（金）
- 場 所：埼玉県久喜市吉羽地先（圏央道上川原地区高架橋上部工事現場）
- 参加者：久喜市立太東中学校 417名
（1年生：115名 2年生：145名 3年生：157名）
- 内 容：
 - ・ 圏央道の役割と効果、工事の概要説明
 - ・ 建設中の橋梁にのぼり 見学
 - ・ 床版コンクリートへのペイントと記念撮影
 - ・ 工事の疑似体験（ボルトの締め付け、測量、鉄筋探查等）

【 現場見学会を終えて 】

○生徒から

- ・ 高所作業車に乗せてもらったり、ボルトの締め付けや塗装を確認したりと様々な体験をさせていただいて、圏央道がとても身近に感じました。
- ・ 道路へのペンキでの絵描きは、一生に一回できるかどうかの体験でした。きっといつまでもコンクリートの下で僕たちを励ましてくれると思います。
- ・ 圏央道が開通するのが楽しみです。将来自動車の運転免許を取って、この道路を走りたいです。これからも圏央道完成に向けて、安全第一で頑張ってください。

○先生から

- ・ 今回の現場見学体験学習は、圏央道建設に携わっている多くの関係者の方々のご協力により実施することができました。大変感謝しています。
 - ・ 全校生徒が、とても有意義な体験をすることができました。生徒たちも皆、貴重な経験ができ、よい思い出ができたと言っています。
- などの感想が寄せられました。

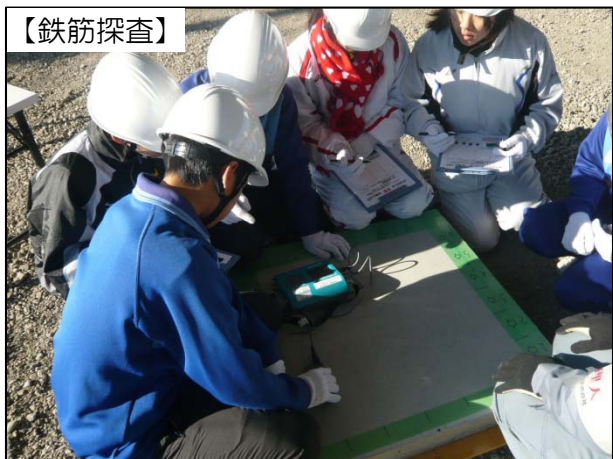
【圏央道の役割と効果の説明】



【ボルト締め付け】



【鉄筋探査】



【高所作業車試乗】



【塗装（塗膜）】



【測量】



【床版コンクリートへのペイント】



【床版コンクリートへのペイント】

